

平成 26 年 12 月 4 日
相模原市発表資料

光景の翻訳 眼差しの在り方

成田 禎 介 展

— 写実風景画 44 点が一堂に —

写真のような精密な風景画で知られる相模原市在住の洋画家・成田禎介さんの、市内初の個展が相模原市民ギャラリーで開催される。

南アルプルの山々や伊豆の島々などを描く成田さんが、世間の注目を浴びるようになったのは平成 18 年頃。当時、小泉純一郎首相は、いつも総理官邸に飾られた絵画の前で記者会見を行っていた。その時に、小泉首相の背景にある写実的な風景画がしばしばテレビに映し出され、誰が描いた絵画なのかが話題になった。それが成田さんの描いた『台地の岬』という作品であり、以後、成田作品の人気の高まりがますます高まることとなった。

本展では、日展の評議員、相模原芸術家協会の副会長であり、また、あじさい大学の講師として長年にわたり高齢者に絵画を指導してきた成田禎介さんの、初期の作品から近年の作品まで 44 点を紹介する。

- 【会 期】 平成 26 年 12 月 4 日（木）～12 月 9 日（火） 11:00～18:00 期間中無休
【会 場】 相模原市民ギャラリー（J R 横浜線相模原駅 駅ビル セレオ 4 階）
【入場料】 観覧無料
【関連事業】 成田禎介講演会「振り返ること そして、これから」
12 月 6 日（土） 14:00～15:30 定員 50 人・参加無料・直接会場へ
【主催等】 主催：相鑑舎 共催：相模原市



「遠島風景」油彩 F 120 号 1993



「雪と山と湖」油彩 F 120 号 1998

問い合わせ
アートラボはしもと 柳川
☎ 042 (703) 4654 (直)